

年 組 名前：



「川をきれいに」が**第一歩**

SDGsの14番目の目標は「海の豊かさを守ろう」です。私たちは、魚や水といった海の恵みを受けて生活しています。海がごみなどで汚れないようにしなくてはなりません。

ペットボトルやビニール袋が粉々になった、とても小さなプラスチックごみなどが大きな問題になっていることを知っていますか？ えさと間違えて魚やウミガメが食べて死んでしまうことがあります。

山梨県には、富士川や桂川が流れています。もし、川の近くでプラスチックのごみを捨てれば、海に流れ着くまでに小さなごみと

なって海の生き物が食べてしまうかもしれません。ごみを捨てないのはもちろんですが、清掃活動に参加するなどして川をきれいにすることが海の豊かさを守ることに繋がります。

また、二酸化炭素をたくさん出すと海の酸性化が進みます。サンゴ礁が衰退し、生態系にも悪い影響が出ると心配されています。

「海の豊かさを守ろう」には「海洋汚染を防止する」「海の酸性化の影響を小さくする」など10の具体的な目標があります。

(2022年8月18日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと9面)

問1 次の文章の①から④に当てはまる言葉を、答えてください。

『①や②袋が粉々になった、とても小さな③ごみを、魚やウミガメが、④と間違えて食べてしまうと死んでしまうことがあります。』

①..... ②..... ③..... ④.....

問2 山梨県に海はありませんが、SDGsの目標の「海の豊かさを守ろう」は、とても関係があります。

それは、なぜでしょうか。

.....

.....